

◆ 平成 30 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：草加パドラーズ

21A-01

代表者：会長 木村高明

URL :

1. 活動が必要とされた状況

綾瀬川は、昭和 50 年代後半から連続 15 年間ワーストワンが続き、現在でもワースト 5 を脱却できず、水質汚濁や不法投棄ゴミが浮遊し流れている現状に心を痛め河川の再生を願い市民有志が草加パドラーズを立ち上げ、カヌーでゴミ拾いを始めた。もう一度清流をよみがえらせ、人々に安全で親しまれる河川を目指してこの活動を続けてゆく決意である。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

①川の再生を目指し、カヌーで浮遊ゴミ回収を実施。

- ・平成 30 年の 1 年間、毎水、土、日、祝の午前中実施、実施回数 168 回。

②カヌーを通してスポーツ文化の普及活動を実施。

- ・夏休みカヌー教室 7 月 21 日、22 日の 2 日間延べ 20 名参加
- ・カヌー体験会 4/29 春のこどもフェス 238 名
6/2 足立区 20 名、8/18 春日部市 100 名、8/19 狭山市 40 名、9/9 比企 30 名、10/6 越谷市 50 余名、
10/8 スポーツフェス 68 名、11/4 ふささら祭り 185 名など

③他地域の環境団体との連携

- ・4/18 SNI 自転車部と水陸合同ゴミ拾い 20 名
- ・6/3 8/3 11/3 獨協大学伝右川再生プロジェクトとの合同ゴミ拾い活動 延べ 50 名
- ・11/11 川口市「綾瀬川を愛する会」交流 30 名



3. 活動の成果

- ①回収ゴミ 796 袋(45ℓビニール袋) ゴミ拾い参加者人数延べ 1,407 名
- ②カヌー教室 1 回、カヌー体験会 11 回、参加者人数延べ 800 余名
- ③5/12 6/27 10/7 視覚障害者 12 名がカヌー体験をし、交流が図れた。
- ④川口市、越谷市、狭山市、春日部市、足立区の環境団体や獨協大学との連携ができた。
- ⑤啓発冊子、DVD を作成、近隣小・中・高校、大学などの環境教育に利用してもらった。
- ⑥水質検査での年間平均値、COD=4.8 透視度 31.8 cmというデータが得られた。

4. 今後に残された課題

- ①会員数が 50 名に増え、活動資材などが不足気味である。また、継続して啓発用冊子、DVD を制作する予算確保が必要で補助金などを申請し確保していきたい。
- ②国・県・市とゴミの処理や相互の役割分担、提出書類、鍵の貸出、船着場の設置など連携がまだ不十分なので今後も継続して話し合い解決していきたい。
- ③引き続き水質検査を実施し、COD、透視度など河川再生に向け行政と連携したい。